



## 地域の企業・団体・住民

- 学生と一緒に地域課題に取り組みたい。
- 地域と大学の学び合いの場を作りたい。
- 学生のインターンシップや人材の育成に関心がある。
- 本学の取り組み全般に協力したい。
- 本学教員へ課題調査を依頼したい。

## 学生

- 地域づくり活動に参画したい。
- ボランティア活動がしたい。
- 地域課題に取り組む団体を立ち上げたい。
- 地元の熱い人たちとつながりたい。
- 地域の役に立ちたいが何から始めればよいかわからない。

当センターでは、ご相談をお受けしております。  
皆さまの思いをぜひお届けください。



東北公益文科大学  
Tohoku University of Community Service and Science

## 地域共創センター

地域共創センター長 吉村 昇

〒998-8580 山形県酒田市飯森山3-5-1  
TEL 0234-41-1115 FAX 0234-31-2082  
Email kyoso@koeki-u.ac.jp  
URL https://www.koeki-u.ac.jp  
開室時間 9:00~17:00(土・日・祝 休み)



大学本部棟に打ち合わせスペースと  
事務室がございます。  
お気軽にお立ち寄りください。



このパンフレットは「令和4年度公益のふるさとづくり活動補助金(庄内開発協議会)」の支援を受け作成しました。

## 地域で活動する学生団体



お問合せ先 地域共創センター  
kyoso@koeki-u.ac.jp

### 酒田おもてなし隊

多くの方に酒田を中心とした庄内エリアの魅力を知らせてもらう・楽しんでもらうことを目的としています。自分たちが感じた地域の魅力を様々な形で発信をすることでより多くの人に庄内を好きになってもらえるように活動しています。



### afaka (アファカ)

例年、地域のお祭りへ参加し、地域の魅力を満喫しています。また、事務イスで2時間走行する「いす-1グランプリ」に出場し、イベントを満喫しています。



### IVUSA 山形酒田クラブ

国際協力、環境保護、地域活性化、災害救援、子どもの教育支援の5つの分野でプロジェクトを実施しています。主に、海岸清掃を行っています。



### KOEKI 日本酒同好会

庄内にある蔵元それぞれの製造方法やこだわりなどを学び合い、若い世代の人々に発信する活動をしています。酒田にある酒造会社「オードヴィ庄内」とコラボし、日本酒ラベルの作成を行いました。



### 災害復興支援サークル チーム moreE (モアイ)

宮城県南三陸町ののぞみ福祉作業所で製作された「モアイグッズ」を代理販売しています。また、防災・減災活動にも取り組んでいます。



### Praxis (プラクシス)

酒田市八幡の日向地区をフィールドとし、地域の方々と一緒に地域の課題解決に取り組んでいます。2019年夏より、「日向里(にっこり)カフェ」で月1店長をつとめています。



### 加'mon (カモン)

鶴岡市加茂地区にて、加茂自治振興会の方々と一緒に「景観マップ」を作成しています。大学生の若い力で地域を盛り上げていきます。



### ラーメン同好会 「麺恋の」(めんごいの)

酒田ラーメンを心から愛するメンバーで、酒田中のラーメンを食べ歩いています。今後はラーメンの歴史や背景を学び、魅力を発信していきます。



### ゲートボーラーズ

ゲートボールを通して、地域の方々との繋がりを深めることを目的に発足しました。学内テニスコートなどで練習を行いながら、地域の大会に出場したり小学生などとも交流したりしています。



### Liga 食品ロス削減チーム

食品ロスを削減するために、定期的にフードパントリーを開催しています。また、子ども食堂やフードドライブ、小学校での出前授業などにも取り組んでいます。



### 食文化サークル iiMORi (いいもり)

2022年より活動を開始し、地域のイベントなどに参加しながら、県内外の方に庄内の食文化について魅力を発信しています。



Mail koeki.foodcultureclub@gmail.com

「ともにつくろう。わくわくミライ。」

# 地域共創センター

地域と大学を結ぶ窓口として2006年に開設。これまでの連携ノウハウと文部科学省「地(知)の拠点整備事業」の経験を活かし東北公益文科大学 地域共創センターは、地域と共に未来を創る活動拠点として地元庄内・山形の皆さまと取り組んでまいります。



地域共創センター公認キャラクター  
「ともつくん」



# 4つの部会で活動しています。

## 地域連携部会

行政や企業、地域の人々と公益大をつなぎ、社会・地域課題の解決に取り組みます。

## 防災・環境部会

自治体、地域住民とともに、防災・環境教育の充実を図ります。

## 産学連携部会

大学と外部機関とのパートナー関係を構築し、産学官連携を推進します。

## デジタル人材育成部会

IT技術を活用し、地域資源に新しい視点を創る研究を展開し、地域の文化を未来につなぐ人材育成に取り組みます。

# こんな取り組みをしています。

**学外ニーズのヒアリング**  
学内シーズとのマッチング

ヒアリングシートにより学外ニーズを把握し、学内シーズと調整し、地域共創の輪を広げます。

**公開講座 (FORUM21・共創カフェ)の開催**

学内のみならず、地域に開かれた公開講座を随時開催し、学び合いと対話の場を提供します。

**ボランティア情報発信活動支援**

学生へのボランティア募集・装備品の貸し出し・研修会を開催し、学生のボランティア活動を支援します。



**学生活動支援**

学生向け講座の開催や学生活動支援助成金等の競争的資金制度を運営し、学生の主体的な学び、活動を支援します。

**「ハタラクカタチ」プロジェクト**

学生が庄内地域の企業を訪問、取材をし、若者ならではの視点で地元企業の魅力や地域で働く方々のライフスタイルを発信しています。

**地域防災**

住民・行政・専門家と連携して、地域防災・減災のための講演会や防災マップづくり等のワークショップを開催します。



**地域文化のデジタルアーカイブ化**

松ヶ岡開墾場のドローンによる撮影などで、景観・伝統文化の保存と活用を研究しています。

**委託事業 酒田市デジタル人材育成事業**

高度な情報技術を活かした各種講座・研究を通じ、地域で活躍できるIT人材を育成します。

**共同研究 受託研究**

行政や企業等の課題について、本学教員が共同研究・受託研究で解決を図ります。



# マッチングもします。

**ニーズ**  
学生や教員と地域のために一緒に活動したい!



**シーズ**  
地域貢献がしたい!



「学生や教員と地域のために一緒に活動したい!」を可能な限りサポートします。どのような活動を展開できるか、共創の視点で一緒に考えます。

学生 × 地域			教員 × 地域
事例 01	事例 02	事例 03	事例 04
酒田市内の学童主催で初めての「子ども食堂」を開催予定。大学生にサポートしてほしい。	本学学生サークル「オレンジリボンチーム」より、児童虐待防止を呼び掛ける運動を広めたい。	酒田市内の中学校の総合的な学習の時間で地域づくりに関する話をしてもらいたい。	「酒田市のコンパクトシティ化」についての研究を依頼したい。
食事のサポートだけでなく、レクリエーション活動も楽しんだ。	学生自らが作成したオレンジリボンで、行政関係やNPO法人、保育園などに普及活動を行った。	酒田市日向地区で活動するPraxis (プラクシス) による出前講座を実施した。	酒田市の地域ごと、住民一人当たりの行政コストを把握し、コンパクトシティ化の検討を行った。酒田市からの資料やアンケート調査の結果から分析・調査を実施し、産学官で連携し研究に取り組んだ。

# 地域とつながっています。



**日向コミュニティ振興会**  
事務局長 **工藤 志保さん**

学生活動団体「Praxis」を中心に「好き&得意なこと」で共創の地域づくり活動に関わって頂いています。子ども達とは「星空キャンプ・ミニ雪祭り」、高齢者とは介護予防講座、地域の方に畑を借り野菜を育てるなど世代を超えた出会いにより共に刺激を受けながら成長させてもらっています。



**NPO法人ぼらんたす**  
事務局長 **栗原 穂子さん**

「ぼらんたす」では、地域の課題を人任せにしない地域づくりに取り組んでいます。地域を知り、地域の課題と向き合うボランティア活動にぜひ参加してみませんか? 「らくやこども食堂」、「こどもまちづくり倶楽部」等いろいろな活動が皆さんをお待ちしています。



**酒田市ボランティア・公益活動センター**  
センター長 **長尾 和浩さん**

当センター(愛称:ボラポートさかた)は、市民や学生のボランティア・公益活動を応援する酒田市の機関です。地域共創センターと連携しながら、地域や各種団体のニーズと学生の皆さんの思いをつなぐとともに、その活動を支援していきます。